ては馬だけにあらず。アジアンフードにおしゃれなハイボール、名古屋めし、カレー…。最近は、競馬場の「食」が充実しているのです。豊明市を担当して二年余り。昨年初めて馬券を買って競馬場デビューした記者が、場内グルメの世界を案内します。（森若奈）

競馬場グルメをご案内

アジア風、験担ぎ…多彩

「おいしいものを食べ
勝ってほしい」と接客
力を入れる伊藤さん

競馬場を訪れたのは、名古屋で三六・九度を観測した七月中旬の猛暑日。競馬場へ向かうタクシーの車内でも腕がじりじりと焼け、到着したころには夏バテ気味になっていた。

「暑い夏にこそ、お勧めのメニューがあります」と迎えてくれたのが、キッチンカーを運営している長縄晴宣さん（四六）。場内ではアジア各国料理が楽しめる「アジアンガーデン」を開催していた。長縄さんは、香味野菜パクチーをのせた唐揚げ（六百円）をメニューに加えた。

タイのスープ「トムヤムクン」味のパウダーをふりかけた唐揚げはスパイシーで、食欲を刺激する。隣の店にはウイスキー「知多」を使ったスダチ入りハイボール（六百五十円）もある。ジューシーな唐揚げと、シュワッとしたハイボール。最高の組み合わせだ。

パクチーをのせた唐揚げとハイボールを勧める長縄さん＝いずれも豊明市の中京競馬場で

二宮さんが大量のタマネギを煮込んで作る「モナモナカレー」

元気を取り戻したところで参戦。第九レースは予想通り、武豊騎手が騎乗するスイーズドリームスが外側から追い上げてフィニッシュ。財布がほくほくしたところで次の目的地、スタンド二階の「mona mo

店の一番人気は「モナモナカレー」（四百六十円）。大量のタマネギをじっくり煮込んだルーは、まろやかな味。チキンも大きく、食べ応えがある。値段と味のバランスが良い。

店主の二宮文子さん（五四）が店を開いたのは十四年前。「競馬場っぽくない店を出そう」とカフェのような店を作った。「カレーは普通の作り方ですよ」と謙遜する二宮さん。「クミンが入っていますね」と探りを入れるも「企業秘密です」

とはぐらかされてしまう。

締めは「名古屋めし」で有名なスタンド一階の「馬勝」へ。どて煮や、串カツや温泉卵がのった「温玉どて勝丼」が人気だ。

験担ぎのメニューの他にも、豚タンを三つ串刺しにした「三連タン」など、しゃれっ気あるメニューも。運営会社の伊藤嘉美社長（五〇）は「ここで食べて勝ってほしいし、負けてもおいしいものでハッピーになってほしい」と力を込める。

この日のメイン「名鉄杯」の予想をしながら食べようと、豚カツをはさんだ「馬勝サンド」（六百円）を注文。リンゴやトマトを煮込んだソースがカツに染み込み、うま味が広がる。

ふと、名鉄杯のファンファーレの音に気が付いた。食べるのに夢中で馬券を買い損ねた。作り手の愛にあふれ、来場者を魅了する競馬場グルメ。恐るべし。次回の中京開催は十二月―。

豪雨被災地にエアコン

中川の業者　真備町の集会所など寄贈

被災地へ寄贈する4台のエアコンを紹介する「元気でんき」の河口社長＝中川区太平通の元気でんき本社で

エアコン中古販売の「元気でんき」（中川区）が四日、西日本豪雨の被災地である岡山県倉敷市真備町でボランティアが寝泊まりする集会所などに、清掃済みの中古エアコン二台を寄贈した。

現地には同社社長の河口エレキテル＝本名・清一＝さん（四五）がスタッフ一人と直接入り、エアコンの設置まで手掛けた。現地の人手不足を受けた例外的対応だという。五日にも二台を寄贈するなど、今後約五十台を被災地へ無償提供する計画。配送先は被災者の仮住まいが中心という。

河口さんは二〇〇〇年の東海豪雨時に新川が決壊した清須市西枇杷島で被災した経験がある。「豪雨の恐ろしさが想像できたし、被災後の空調復旧に時間がかかることも知っていた。今年は猛暑で売り上げが伸びていることもあり、少しでも力になりたいと思った」と寄贈の理由を説明する。

同社は県内の公立小中学二校にもエアコンの寄贈を予定している。被災地や公立学校への無償提供を継続していく計画で、中古エアコンの提供や配送、設置のボランティアを募集しているという。（飯塚大輝）

大漁に歓声　地引き網体験

蒲郡

蒲郡市の西浦温泉パームビーチで四日、観光客向けの地引き網体験があった。親子連れの宿泊客ら約五十人が参加し、早朝の砂浜に歓声が響いた。

参加者は二手に分かれ、五十㍍ほど沖に仕掛けた網につながったロープを力いっぱい引いた。網が岸に近づくと、海面で魚が跳ね上がる姿も。小さなサバやコノシロ、セイゴ、モガニなどがかかり、子どもたちは興味津々で地元漁師の解説に聞き入った。

東京都調布市から家族五人で訪れた佐々木蒼太君（九）は「網は意外に重かった。魚がいっぱいかかってびっくり」と話した。

西浦観光協会による恒例の催しで、取れた魚は持ち帰れる。十八、二十七日にも開く。（問）同協会＝0533(57)2195（木下大資）

網を引き上げる参加者たち＝蒲郡市の西浦温泉パームビーチで

非常食試食など

親子で減災学ぶ

親子を対象にした「防災・減災ピクニック」（中日新聞社後援）が四日、名古屋市内であり、県内の小学生と保護者四十五人が参加し、いざという時に備えた。

千種区の名古屋大減災館でプリンを使った地盤による揺れ方の違いなどを学んだ後、中区の名古屋都市センターへ移動した。

センターでは火や電気を使わずに食べられる非常食を試食。特殊な袋に発熱剤と溶剤を入れ、カレーの入ったパウチや五目ご飯やみそ汁の缶詰を温めた。缶の熱さに驚く子もあり「思ったよりおいしい」と声が上がった。そのほか、新聞紙を使った簡易のお皿やコップ作りにも挑戦した。日本損害保険協会中部支部が企画した。

温めた非常食を試食する子どもたち＝中区の名古屋都市センターで

緊急医

5日◇初期医療機関▽内科・小児科・各区の休日急病診療所＝（前9・30～正午、後1～4・30）名古屋市医師会急病センター＝東区052(937)7821（前9・30～正午、後1～4・30、後5・30～翌前6）◇夜間相談窓口▽医療機関案内＝052(263)1133（24時間対応）HPは「愛知県救急医療情報システム」で検索、子どもあんしん電話相談＝052(933)1174（後6～翌前0）、小児救急電話相談＝＃8000、短縮ダイヤルが使えない場合は052(962)9900（後7～翌前8）

【瀬戸市・尾張旭市】内科、小児科・休日急病診療所（前9～正午、後2～5）＝瀬戸市西長根町0561(82)9911▽歯科・Kデンタルクリニック（前9～正午）＝瀬戸市西松山町0561(97)1165

【豊明市】内科、小児科・休日診療所（前9～後5、昼休憩1時間あり）＝西川町0562(93)1611

【日進市・長久手市・東郷町】内科、小児科・休日急病診療所（前9～後4・30、昼休憩1時間あり）＝日進市蟹甲町0561(73)7555

アラカルト

◇美術魚拓・拓画会員展　13～19日、名古屋市中区栄4、中日ビル2階タウンギャラリー。（問）石垣さん＝090(7912)6630

◇屋根裏工房×6展＋GUEST　14～19日、名古屋市西区則武新町3、ノリタケの森ギャラリー＝052(562)9811。無所属の作家6人と線描画家松野ちり子さん。

◇南風展　14～19日、名古屋市瑞穂区瑞穂通1、市博物館ギャラリー＝052(853)2655。洋画。

◇公募全名古屋書道展　15～19日、名古屋市瑞穂区瑞穂通1、市博物館ギャラリー＝052(853)2655

◇彫刻秀作展　26日まで、名
市中区錦3、ガレリア・デ・ア
＝052(972)8554

(c)中日新聞社　無断転載、複製、頒布は著作権法により禁止されています